

みずほCustomer Desk Report 2021/01/22 号(As of 2021/01/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.56	1.2115	125.49	1.3666	0.7754
SYD-NY High	103.67	1.2173	125.96	1.3745	0.7784
SYD-NY Low	103.33	1.2106	125.39	1.3656	0.7742
NY 5:00 PM	103.49	1.2169	125.95	1.3736	0.7765

NY DOW	31,176.01	▲ 12.37	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	13,530.92	73.67	日本10年債	0.030	0.00bp
S&P	3,853.07	1.22	米国2年債	0.124	▲0.40bp
日経平均	28,756.86	233.60	米国5年債	0.446	0.64bp
TOPIX	1,860.64	11.06	米国10年債	1.108	3.24bp
シゴ`日経先物	28,680.00	▲ 45.00	独10年債	-0.4995	3.00bp
ロンドンFT	6,715.42	▲ 24.97	英10年債	0.3290	3.00bp
DAX	13,906.67	▲ 14.70	豪10年債	1.0440	▲0.40bp
ハンセン指数	29,927.76	▲ 34.71	USDJPY 1M Vol	5.40	▲0.05%
上海総合	3,621.26	38.17	USDJPY 3M Vol	5.93	▲0.01%
NY金	1,865.90	▲ 0.60	USDJPY 6M Vol	6.23	▲0.03%
WTI	53.13	▲ 0.18	USDJPY 1M 25RR	-0.45	Yen Call Over
CRB指数	175.16	0.02	EURJPY 3M Vol	6.24	0.04%
ドルインデックス	90.13	▲ 0.34	EURJPY 6M Vol	6.59	0.06%

東京	東京時間は103.56レベルでオープン。日経平均株価が堅調な推移をする中ドル円は一時103.67まで上昇した。ただそのレベルではドル売りが優勢となりじりじりと下落、結局103.40レベルで海外に渡った。また本日日銀は金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定した。また、「貸出増加を支援するための資金供給」と「成長基盤強化を支援するための資金供給」について貸付実行期限を1年延長することを決めたが、特段のサプライズは無く、相場への影響は限定的であった。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は小幅推移、103.39レベルでオープン。米大統領就任式を終えバイデン政権経済政策への期待感からリスク選好モード、オープン後は安全通貨の円売りに103.55まで値を上るも、その後、欧州株が堅調に推移した事でユーロドル、ポンドドルが上昇。ドル売りが優勢となり押されたドル円は103.46レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではドル売りにドル円は一時103.33まで下落するが、その後は円売りが強まったことから下げ渋り、103.46レベルでNYオープン。朝方は米12月住宅着工件数が予想を上回り、前回分も上方修正され、1月フラゲルバレー選銀景況指数も大きく予想を上回り、新規失業保険申請件数も予想を下回り、良好な米経済指標を受け円売りが更に強まり、ユーロ円が上昇する動きもあがり、103.66まで戻す。その後はドル売りが持ち込まれ、103.46まで再び反落。午後は103.62まで戻す局面もあったものの、ドル売りが続いたことから徐々に下落し、103.49レベルでクローズした。一方、ユーロドルはECB理事を前にドル売りが強まったことから海外市場ではじり高で推移し、ECB理事会で政策金利、バシェンク緊急購入(PEPP)の規模が据え置かれることが発表されるが、予想通りであったことから市場の特段の反応はなく、その後も1.2155まで戻し、1.2144レベルでNYオープン。朝方は良好な米経済指標が発表されたものの、同時に開始されたFOMC ECB総裁の定例記者会見で、見通しの下振れリスクが以前より顕著でなくなったとの見方が示され、1.2173まで戻す。その後は「PEPP購入枠を全額使用する必要はない」との発言が繰り返されたことからイールドアベージが下落する動きに1.2137まで反落する。午後は再びドル売りが優勢となったことから1.2170まで戻し、1.2169レベルでクローズした。

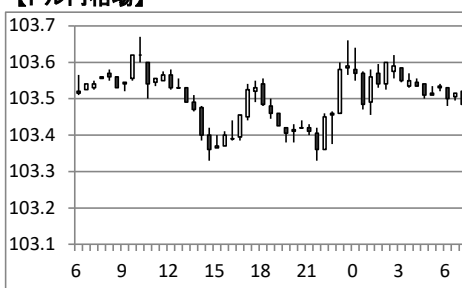
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
1月21日	08:50	日 貿易収支	12月	¥751.0b	¥930.5b
	-	日 日銀金融政策決定会合/当座預金政策金利	-	-0.10%	-0.10%
	21:45	欧 ECB預金ファシリティレート	21-Jan	-0.5%	-0.5%
	21:45	欧 ECB主要政策金利	21-Jan	0.0%	0.0%
	22:30	米 住宅着工件数(前月比)	12月	5.8%	0.8%
	22:30	米 住宅建設許可(前月比)	12月	4.5%	-1.7%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	16-Jan	900k	935k

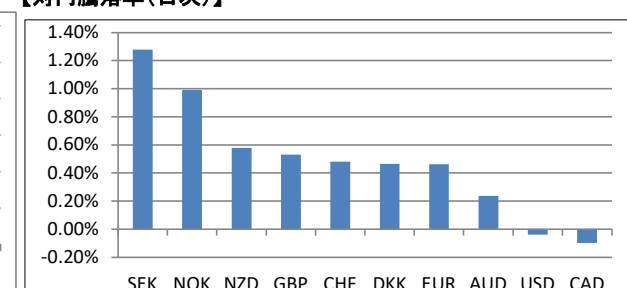
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月22日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI	12月 -1.3%/-1.1%/-0.4%	-0.9%/-0.9%/-0.3%
	09:30	豪 小売売上高(前月比)・速報	12月 -1.5%	7.1%
	18:30	英 マークイットサービス業PMI・速報	1月 45	49.4
	18:30	英 マークイットコンホジットPMI・速報	1月 45.5	50.4
	23:45	米 マークイット製造業PMI・速報	1月 56.5	57.1
	23:45	米 マークイットコンホジットPMI・速報	1月 -	55.3
	23:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	1月 53.4	54.8
1月23日	00:00	米 中古住宅販売件数	12月 6.56m	6.69m

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
	102.90-103.90	1.2100-1.2250	125.50-127.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は下落後、小幅に持ち直す展開。バイデン政権の経済対策への期待感からリスク選好ムードとなり、広範なドル売りの余波を受け、一時103.33まで下落。しかしその後は、1月フィラデルフィア連銀景況指数、新規失業保険申請件数の良好な結果を受け103円台後半まで上昇した。引き続き経済対策への期待感からドル売りの流れは継続するだろう。しかし、同時に円売りの動きもあり一定の底堅さがある中、ヘッドライン等を要因とした下値を模索する動きには警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でさあさうお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのご提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:天雲・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		6	15